



# かおり通信

祝・修了号  
NO.15

学校教育目標……『自分らしさを大切に、互いに認め合える子どもの育成』 「自律」と「共生」

めざす子ども像…『共に考える子・互いに思いやる子・みんなでチャレンジする子・最後まで諦めない子』

めざす学校像…『子どもたちから笑顔が絶えない学校・気持ちのいい挨拶、きれいな学校・教職員同士が

専門家として成長できる学校・保護者の期待に応える学校・地域と学校が支え合う学校』

茅ヶ崎市立香川小学校

校長 松永 忠弘

令和7年3月25日

## 「ご卒業、おめでとうございませす！」 ～169 それぞれの夢に向かって！！～

3月14日（金）卒業式の予行練習を行いました。

私から、こんな話をしました。

「卒業証書をこの壇上でいただく瞬間、その姿を見逃さないように目を凝らしてじっと見ている人がいます。そうです。皆さんのお父さんやお母さん、ご家族の方です。でも、見ているのは、その時だけではありません。あなたが、あの入口からこの会場に入場してきたその時から席に着くまで、そして、座って話を聞いている時も、「別れのことば」や歌を歌っている時も、あなただけを見えています。退場する時も、あなたの後ろ姿が見えなくなるまでずっとあなただけを見てくださっているのです。あなたは、お父さんやお母さん、ご家族の方に、どんな姿を見せたいですか。会場を後にするその瞬間まで、凛として行動してください。」

6年生の「別れのことば」も歌も、思いのこもった素晴らしいものでした。そして、その姿を目にした在校生代表の5年生の態度もとても立派でした。卒業式当日、次の6年生にバトンがしっかりと受け渡されることを確信しました。

6年前の入学式の時は期待と不安でいっぱいだった子どもたちが、香川小学校での学校生活を経て、大きく成長しました。卒業生全員が、それぞれの夢の実現に向けて、思う存分力を発揮してくれることを心から願っています。立派に成長した6年生と、お子さんの成長を願って常に支えてくださった保護者・地域の皆さまに、心より感謝とお祝いを申し上げます。

## 「6年生奉仕活動」 ～学校中をきれいにしてくれました～



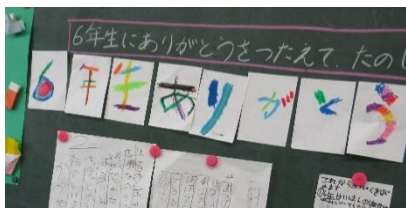
卒業式の予行練習があった日の午後、6年生が学校中をきれいにしてくれました。校舎内では、すべての流しや階段、下駄箱の掃除、校庭では、側溝のふたを外して、中の泥をかきだしてくれました。

**6年生、  
ありがとう！**

一生懸命きれいにしている6年生の姿からは、6年間過ごした香川小学校への感謝の気持ちが伝わってきました。

# 「6年生、ありがとうございました！！」

## ～6年生を送る会・お別れ式～



3月11日（火）の4時間目に「6年生を送る会」をしました。6年生全員が1年生から5年生までの全クラスに入って、レクやゲームをして楽しみました。6年生を迎えるために教室を飾ったり、折り紙で作った「レイ」をプレゼントしたり、6年生への今までの感謝の気持ちを伝えるために各クラスが工夫をこら

していました。その日は、給食も6年生と一緒に食べました。「6年生と給食食べれるなんて、たのしみすぎる～」という1年生の言葉に6年生とのこれまでのかかわりの深さを感じました。

また、卒業式前日は、校庭で「お別れ会」をしました。1年生から5年生全員が、6年生への感謝の気持ちを「呼びかけ」で伝えました。



## 「いのちのおはなし」(日野原重明さん著)

### ～いのちは、どこにあると思いますか？～

卒業式での学校長の言葉の中で、「いのちのおはなし」という絵本の一節を紹介しました。

ここに、一冊の絵本があります。「いのちのおはなし」という絵本です。作者は、日野原 重明さんという聖路加国際病院という病院の院長さんをなさっていた方です。105才でお亡くなりになるまで、生涯現役を貫いた方です。この本は、日野原先生が小学校4年生、10才の子どもたちに向けて授業をしたことが書かれています。

「今日は、『いのち』について、お話ししたいと思います。」先生はぐるっと見渡すと、こう言いました。「いのちってなんでしょう？そう生きているということですね。でも生きているとは、どういうことだと思いますか？そして、いのちはどこにあると思いますか？」

「いのちは、どこにあると思いますか？」 「心臓！」と、胸に手をあてる子。「考えるのは頭だから。」と、答える子。いろいろな意見が出てきます。先生はみんなの意見にうなずきながら、「私は、こんな風に考えています。」と言いました。「いのちはきみたちのもっている時間だと言えますよ。」先生は、ゆっくり、ことばを続けます。「いのちが自分のもっている時間だなんて、お医者さんがこんなことを言うのは、おかしいと思いますか。でもちょっと考えてみてください。心臓は大切ですが、いのちそのものではありません。いのちを動かすためのモーターです。心臓が止まったら、人間は死んでしまい、つかえる時間も無くなるのです。いま君たちは、どのようにでもつかえる自分の時間をもっている。時間を使うということは、いのちを使うことです。これから生きていく時間。それが君たちの命なんですよ。（文責 松永）

香川小学校を巣立ち、新しい今日という日、これから生きていく時間が始まる卒業生に向けて、その時間を大切に積み重ねてほしいという願いを込めて「はなむけの言葉」としました。

目の前に、悠々と広がる時間の中で、はじめの一步を踏み出す卒業生に心よりエールを送りたいと思います。

### 【1年間、ありがとうございました】

本日は、子どもたちの1年間の活動の最終日となります。4月7日の始業式には一つ進級し、たくましく成長した姿を見せてくれることと思います。保護者・地域の皆さまにおかれましては、本校の教育活動へのご理解ご協力に改めて心より感謝申し上げます。次年度も、香川小学校の子どもたちの健やかな育ちを、あたたかく見守ってくださいますようお願いいたします。